

人手不足解消のための後志地域の取組

～自治体などの取組事例紹介～

現在後志地域では、コロナ5類移行に伴い人流が回復しつつあるものの、新型コロナウイルス蔓延時に削減された従業員が戻っていないことなどから、人手不足が問題となっています。

上記問題については、企業での取組のみならず、自治体などで地域の問題として捉え人手不足解消に向けた取組も行っています。そこで、今回は人手不足解消のための自治体などの取組を紹介します。

1. 北海道および後志地域の雇用動向について

■法人企業景気予測調査【北海道地方の概要】（令和6年7～9月期）

- 北海道財務局で発行している法人企業景気予測調査で分析している「従業員数判断」BSIについて、全産業で見ると**43.0%ポイント**と「不足気味」超となっている。（表1参照）

■管内経済情勢報告（令和6年10月判断）

- 同じく当局で発行している管内経済情勢報告の雇用情勢に係るヒアリングでは、「従業員の確保に向けて、デジタル化の推進により働きやすい環境整備に着手している。」など、**多くの企業から人手確保のための取組を行っている声**が聞かれている。

■しりべし経済レポート（令和6年12月発行）

- また、北海道財務局小樽出張所で発行しているしりべし経済レポートの雇用情勢に係る企業からの生の声では、「ハローワーク以外の民間求人媒体や、スポットワークを活用している。」など、管内経済情勢報告の雇用情勢と同じく、**多くの企業から人手確保のための取組を行っている声**が聞かれている。
- 以上のとおり、北海道および後志地域では、**企業の手不足感が高まっており、人手確保のための取組を積極的に行っている。**

表1

【業種別・規模別従業員数判断BSI】

（期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比）

（単位：%ポイント）

区分	6年6月末 前回調査	6年9月末 現状	6年12月末 先行き	7年3月末 先行き	
全産業	38.8	(35.5) 43.0	(34.2) 39.5	37.9	
業種別	製造業	31.6	(30.4) 37.3	(30.4) 38.6	36.1
	非製造業	40.8	(36.9) 44.6	(35.2) 39.8	38.4
規模別	大企業	35.3	(27.9) 31.8	(27.9) 27.3	27.3
	中堅企業	40.0	(35.0) 44.2	(33.0) 40.4	35.6
	中小企業	39.4	(38.4) 45.9	(36.9) 43.0	42.5

（注）表中（ ）は前回調査時の見直し。

【出所】北海道財務局

次のページで、自治体などの取組を紹介します

2. 自治体などの取組紹介①

名称：余市町農園応援サポーター「チアーズ！」 (余市町)

①概要

→農園の人手不足解消を図るとともに、**余市町ファンの創出**を目的に、令和3年から余市観光協会がLINEの公式アカウントを利用して、援農ボランティアの募集を実施。

②きっかけ

→余市・仁木ワインツーリズムプロジェクトの会合にて、農園のブドウ収穫時期の**慢性的な人手不足**と同時期の**町外からの観光需要**への対策を模索していたところ、**援農ボランティア**にたどり着いた。

③実績（令和6年11月現在）

→参加人数（累計）：**延べ219人**
→LINE登録者数：1,557人
→受入れ農家数：5件



ソーラン武士

④事業者の声

→ボランティアの方々に積極的に働いていただき、繁忙期の人手不足解消に繋がっている。（農園）

⑤今後の展望

→「チアーズ！」の**受入れ農園数の拡大**や**各農園のファンの創出**を通して、**余市町のファンの創出**に繋がっていきたい。

名称：ニセコ町×倶知安町×タイミー包括連携協定を締結 (ニセコ町、倶知安町)

①概要

→町内やニセコエリアの**人手不足解消**などを目的に、令和5年にスキマバイトサービスを展開する株式会社タイミーと**当協定**を締結し、事業者や町民向けに**タイミーアプリの使い方**を教える**セミナー**などを実施。

②きっかけ

→町内やニセコエリアにおける**冬の観光シーズンの深刻な人手不足**への対策として、倶知安観光協会からの提案を受けた。

③実績（令和6年11月現在）

→マッチング件数（令和6年1～6月累計）：**延べ5,079人**
→ワーカー数：732人
→事業者数：132社



じゃが子ちゃん



じゃが太くん

④事業者の声

→配膳部門でタイミーからワーカーを派遣いただいて、大変助かった。今後も定期的に利用したいと思っている。（飲食店）

⑤今後の展望

→町内の子育て世代、アクティブシニアを中心に**ワーカー数の増加**や**夏の農業**など、**冬の観光業**の人手確保に繋がっていきたい。

名称：小樽市×タイミー連携協定を締結（小樽市）

令和6年3月28日にタイミーと当協定を締結。当市はタイミーと連携し、学生や子育て世代、シニア層などの市民に対して「タイミー」の利用を促すことで、市内の潜在労働力を喚起し、人手不足解消を目指していく。

2. 自治体などの取組紹介②

名称：しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン (後志総合振興局)

①概要

→後志地域の**人手不足解消**を目的に、平成27年度から
後志で暮らしながら働きたい人と人手不足の企業を繋ぐ
無料職業紹介サービスを当局HPにて運営。

②きっかけ

→冬季のリゾートエリアでの**豊富な労働力を夏季の農業などの人手不足分野に結びつける取組**として、無料職業紹介サービスを始めた。

③実績 (令和6年11月現在)

→就職件数 (累計) : **延べ約 150件**

④今後の展望

→後志地域の**慢性的な人手不足解消**や
関係人口の創出、移住人口の拡大に繋げていきたい。



チロベシ

名称：観光業に対する職員の副業解禁 (後志総合振興局)

①概要

→冬のニセコエリアの**慢性的な人手不足解消**などを目的に
令和6年8月から**当局職員による観光関連事業での副業を事実上解禁**。

②きっかけ

→**倶知安観光協会およびニセコリゾート観光協会から要望**があったため。

③今後の展望

→冬のニセコエリアの**慢性的な人手不足解消**や当局職員の
地域特性への理解促進、モチベーションの向上に繋げていきたい。

名称：日本国におけるハイテク農業教育プログラム に関する覚書 (仁木町)

①概要

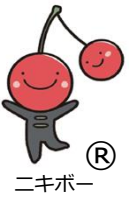
→令和5年に当町とベトナム政府機関などとの間で取り交わしたもので、
当町はベトナム人技能実習生などの受入先 (農家) の確保、
インフラ整備を実施する内容となっている。
現在、**令和7年春の受入れ**に向けて、準備を進めているところ。

②きっかけ

→ベトナムの政府関係者が当プログラム実施地域の選定を目的に当町へ
視察に訪れたことから、覚書締結が当町の課題である
農作業の人手不足解消に繋がると考えた。

③今後の展望

→**農作業における人手確保**だけでなく、ベトナムとの
友好な関係を築き、**観光客の誘致や文化交流**にも繋げていきたい。



ニキボー

3. まとめ

- 「人手不足解消のための後志地域の取組」と題して後志管内の団体へヒアリングを行いました。
- ヒアリングを通して、各団体から「人手不足解消」の取組を通じ、人手不足解消だけでなく、関係団体・町のファンの創出や文化交流などを図りたいとの声が聞かれました。
- 今後も、ヒアリング団体を含む後志地域で「人手不足解消」への取組が活発に行われることで、当地域の雇用の安定だけでなく、移住人口の拡大や観光客の誘致などによる地域活性化の一助になることが期待されます。